

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	公園基本設計の内容について、昨年度から変更した点はあるか。 スケジュールのうち平成29年度の敷地拡張とは何か。	基本設計は平成28年9月に作成したもので、現在は、より詳細な実施設計を行っています。 敷地拡張とは用地買収のことで、平成29年度中に土地の売買契約を締結させていただきたいと考えています。
2	公園基本設計は、彦根城からの景観に考慮して、とのことだが、西側住宅地からの景観、地元の人が通行する際の景観にも配慮してほしいと、以前の説明会でお願いした。想像がつかないので、イメージできる資料を示してほしい。	前回の住民説明会で西側住宅地からの見え方の資料を示しています。現在実施中の建築基本設計では、本日資料の第1種陸上競技場を基本に、競技場の幅を少しでも狭くしたり、中心線を10m程度東側にするようにし、西側住宅地から少しでも離し、植栽で隠すなどにより、圧迫感を少なくする方向で検討しています。ご説明できる段階の説明会では、その資料を示します。
3	第1種陸上競技場は利用料金が高く、中体連や近隣学校の運動会は第3種陸上競技場を使うことが多いかと思う。騒音や近くのコビニへの通行など、周辺環境への対応策を十分検討してほしい。	第3種陸上競技場より第1種陸上競技場を使ってほしいとの思いはありますが、料金体系や管理体制は今後検討します。各大会運営者にはゴミを散らかさないなど周辺地域への配慮をお願いしていきます。
4	連絡橋は新規に設置するのか。	整備するかどうかも含めて検討しているところです。
5	用地買収は進んでいるのか。	5月に説明会を開催し、各地権者への価格提示などを進めているところです。
6	現状、計画地の水が松原土地改良区の水路に流れ込む（その水を土地改良区がポンプアップしている）状況になっており、県から土地改良区へそれに対する補償をしないのか。	土地改良区等との協議により、計画地の水は主に旧港湾の方へ流れるように設計しています。土地改良区の水路へ流れることに対する補償については、補償基準にも合致しないため、補償できないという方向で、土地改良区と協議を進めています。
7	市民体育センターの解体工事はどうなるのか。工期は、県施設解体と重なるのか。 市民体育センターの駐車場をイベント時に利用しており、解体時期を早めに示して欲しい。	市民体育センターの解体等の取扱いは、県市で協議中です。公園整備スケジュールから両施設解体工事の工期が重なる可能性はありますが、詳細はこれから県市で協議します。 解体等については、県市協議の上、説明させていただきます。
8	既存施設解体工事の際、地下浸透しきれない分は公共水域へ放流しますとあるが、具体的にはどうするのか。	工事に伴う濁水等については、水処理システム装置を現地に設置して処理をします。想定している処理対象は、水の濁り、PH、ヒ素です。 水処理システムをどこに置くかは、業者が決まってから業者と相談して決めます。 環境部局と協議し、公共水域へ放流する排水と、地下へ浸透させる排水の基準では、地下への排水の方が厳しい基準値となっています。地下へ浸透しきれずオーバーフローした水は、処理後のきれいな排水を公共水域へ流す計画です。

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
9	どこから排水するのか。最近よくある集中豪雨があると処理しきれないと思うので、そういったことを想定して対応してほしい。オーバーフローした排水が干拓の水路に入らないよう、願います。	解体業者が決定してから具体的な排水経路の詳細を決定します。
10	建物調査の日程は。工事でどの程度の影響が出るか把握するのは難しいのか。	西側の住宅地は8月の盆明けから10月頃に、近江高校の寮等は12月～2月頃に調査させていただく予定です。 当地域は地盤が悪いので工事の影響を把握することは難しいですが、工事の際には影響を及ぼさないよう十分注意します。
11	建物調査について、第1種陸上競技場メインスタンド西側の途中までしか調査範囲となっていないが、もう少し北側の家も調査する必要はないか。	今回は解体工事周辺での建物調査です。第1種陸上競技場の工事の前にはご指摘の範囲も建物調査させていただきたいと考えています。
12	建物調査は外壁だけではなく、瓦のズレも調査するのか。瓦屋根の家も多くある。	瓦屋根も調査対象とします。
13	地下水はどのような流れか。井戸調査の位置は建物調査の範囲と重なるのか、適当な場所なのか。	過去に県が調査した結果では、地下水は彦根城の方から北の方へ流れています。 地下のことなので、どういう流れでどうなるかを想定できない部分もあり、井戸を調査させていただきたい。 周辺の井戸の位置を把握してから調査位置を決めさせていただきたいと考えています。1箇所に複数井戸が集中した場合は代表的な井戸を選定させていただきます。
14	ボーリング調査による振動や騒音の影響はあるのか。	ボーリングによる振動の影響はありません。音はカンカンと金属音がします。
15	事業地周辺は軟弱地とのことだが、ボーリング調査の地点数が少ないのではないか。	今年度は6地点で調査しますが、昨年度に8地点で調査しており、合計14地点での調査となります。また、過去の既存施設のボーリング調査データも踏まえ、調査地点については効果的な位置を選定しています。
16	平成28年度に実施したボーリングデータは閲覧できるのか。長期的な圧密沈下などを心配する。工事の計画については慎重に検討してほしい。	平成29年度のボーリング調査結果が出た後、情報開示を検討し、住民説明会等でお知らせできればと思います。
17	国体の開会期間中は、尾末町にある市立図書館の前の道路は国体のために使わないと理解してよいか。	数年後に国体時の輸送計画を作り、駐車場の位置や選手の動線を計画する予定です。
18	今までの説明会の議事録は見られるのか。	地元説明会での質疑回答の公開は以前にもご意見いただいております、県のホームページに掲載しています。
19	解体工事の日程や市のボーリング調査など県市合わせた日程を発信してほしい。	説明会等の場で県市が説明できるようにします。今後も県市連携して事業を進めます。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	市道のボーリング調査は現道路敷地内で調査するのか。当道路は、幼稚園、小学校、高校の通学路であり、十分注意して作業してほしい。	道路拡幅事業であり、現道路敷地の土質で判断可能です。実施場所等、十分気を付けて作業します。
2	大黒川の改修工事について説明してほしい。	道路法線に沿って大黒川も付け替える計画ですが、関係機関と協議中で、皆さまへ詳細の説明はもう少し待っていただきたい。
3	百間橋付近、昔は苗を置いていた場所について、大黒川の改修工事で嵩上げをする計画は進んでいるのか。過去の説明会で、松原は昔から内湖で、船の出入りが出来るような高さで、荷物を降ろせるような場所を作ってほしいとお願いしたことがある。これは、県の範囲か、市の範囲か。	県道側は市道の影響はありません。大黒川の改修は彦根市で進めるが、船着き場の復元がどのような状況なのかは把握していないので、法線計画の説明会で説明させていただきます。